



# 平成30年度 学校経営方針

丹波市立前山小学校

- ・憲法や教育関係法規
- ・現在情勢と将来の教育展望
- ・県教委方針
- ・市教委方針

**学校教育目標**

**ふるさとを愛し、みんなとともに未来を創る 前山っ子の育成**

～ きのうよりも 一步のびる ～

- 学校評価の反映
- ・児童の実態
  - ・教職員の願い
  - ・家庭や地域の願い

**めざす子ども像**

○すすんでまなぶ子 (知) めあてを持って学び合い、深められる子

○こころゆたかで、つながる子 (徳) 自分も相手も大切にし、つながる子

○たくましい子 (体) 心も体も健康で、粘り強い子

**学年の目標**

第1学年：「いっぽ いっぽ ～なかよく げんきに がんばるこ～」 第2学年：「きらきら」

第3学年：「パワー全開」 第4学年：「ちゃんこ鍋 ～一人ひとり味をだして～」

第5学年：「きずな ～つなごう16人の輪～」 第6学年：「機関車 さきやま号」

すまいる：「えがおいっぱい」 ひまわり：「話 笑 輪」

**【知の教育】**

○知識理解の質を高めつつ、基礎基本の定着を図る。

○「主体的で対話的で深い学び」の実現を図る。

**【徳の教育】**

○愛され、認められ、感謝される関係性の中で自己有用感を伸長させる。

○道徳や人権教育を要とする徳性の涵養

○児童の絆づくりへの自覚形成や推進

**【体の教育】**

○ねらいを明確にし、計画的に行う体力づくり

○健康教育(保健への関心の向上、生活リズムの形成等)や食育等の充実

## 実践事項

**「確かな学力」の定着**

○知識理解の質を高めつつ、基礎基本の定着を図る。

「たんば学びのスタンダード」の徹底 スキルタイム・チャレンジタイムの充実 ちーたん検定の活用 読書通帳や読み聞かせボランティアの活用

○「主体的で対話的で深い学び」の実現を図る。

目的に応じたペアトークの活用 外国語・外国語活動の充実 電子黒板やタブレットパソコンなどICTの活用 プログラミング学習の研究 「学び合い」や「協同的な問題解決学習」の充実

**「豊かな心」の育成**

○愛され・認められ・感謝される関係性の中で「自己有用感」を伸長させる。

生活目標「**◎◎◎◎**」の徹底 特別な教科道徳の評価の実施 いじめの未然防止・早期発見・早期解決 丹波市版キャリアノートの活用

○防災教育の児童への主体的な浸透と地域に愛着と誇りをもつふるさと教育の推進

ふるさと教育・防災教育・人権教育を位置づけた生活科と「いつせの時間」の充実 防災に関する授業の公開

○兵庫型「体験教育」の推進 環境体験事業 自然学校 米作りともちつき大会の実施

**「健やかな体」の育成**

○ねらいを明確にし、計画的に行う体力づくり

体育科教育と体育的行事の充実 外遊び(ジャンボ遊び)・運動遊びの推進

○健康教育(保健への関心の向上、生活リズムの形成等)や食育等の充実

健康観察の徹底 基本的な生活習慣の定着 学校給食を活用した食に関する指導の充実 食物アレルギーへの対応 いのちの参観日の実施 給食試食会、喫煙防止教室、歯科保健指導 薬物乱用 薬物乱用 防止教育

**信頼される開かれた学校づくり**

○「地域とともにある学校づくり」の推進による活力ある学校づくり

コミュニティスクールの実現に向けて オープンスクールの充実 ゲストティーチャーの招へいによる防災教育やふるさと教育・クラブ活動の実施 学校だよりや学校ホームページによる情報発信

## 目指す教師像

- 児童や保護者の思いに寄り添い、明るい笑顔と温かいまなざしで、児童を一步向上させる言葉がけや行動に努める。
- 責任を持った職務遂行をする。(危機管理能力の向上 「報・連・相」体制の確立 効率のよい前向きな会話の推進。)
- 学び続ける姿勢を持ち、プロ教師としての専門性を磨く。(プラス思考や新たな発想で教育課題に取り組む。)
- 子どもへの「前向きな期待」を持つ。(子どもは必ず伸びる・よりよくなる信じる。)
- 共に支え合い高めあえる仲間作りを、学級経営や学校運営の基盤とする。
- 「チーム前山小」の一員として、支え合える同僚になろうとする。
  - ・何をしてもらえるとありがたいのか気兼ねなく言え、「ありがとう」、「お互い様」の言葉が交わし合える。
  - ・勤務時間の適正化に努め、元気な職場づくりに貢献しようとする。